

1. 原稿の構成やページ数について

(1-1) 原稿の構成

- ・ 本プロシーディングスにおける原稿の構成は、以下の通りである。
 - ① タイトル・サブタイトル ② 氏名と所属
 - ③ 要旨 ④ キーワード
 - ⑤ 本文 ⑥ 参考文献や使用コーパスなど
- ・ 日本語で執筆する場合は、①②の英語版も併記すること。
- ・ ③の要旨については、発表タイトルと同じ言語で執筆し、日本語では 300 字程度、英語では 100 words 程度を目安とする。
- ・ ④の各キーワード間は、日本語の場合は「、」で、英語の場合は「,」でつなぐ。キーワードの個数に制限は設けませんが、1~2 行に収まるようにする。
- ・ ⑥の参考文献の記入法については、文献の言語を問わず、基本的に「著者」「出版年」「タイトル」「出版社」の 4 つの情報を盛り込み、それぞれをピリオドで分けること。ただし、雑誌や論文集などの場合は、当該のページ数をつけること。

(1-2) ページ数

- ・ 執筆ページ数は発表形態によって異なり、また、ページ数を選択できるようにしている。ただし、必ず偶数ページになるよう執筆すること。
 - 口頭発表・ポスター発表の場合は、2 / 4 / 6 ページのいずれかを選択
 - パネルセッションの場合は、全体で 8 / 10 ページのどちらかを選択
- ・ 執筆ページ数には、図表や参考文献を含める。

(1-3) 書式

- ・ 用紙サイズの設定は A4 とする。
- ・ 余白（マージン）は上下左右ともに 30 mm とする。
- ・ 1 行の文字数は 40 文字、行数は 36 行とする。
- ・ ヘッダー・フッターには何も記入しない。ページ番号の挿入も不要。
- ・ フォントは、日本語は MS 明朝、英数字は Times New Roman を用いる。
- ・ 文字サイズについては、以下の通りとする。
 - タイトル・サブタイトル：12 ポイント
 - 発表者氏名、要旨、キーワード、本文、節タイトル、参考文献：10 ポイント
- ・ タイトル・節タイトルは太字（ボールド）にする。

2. 表記について

(2-1) 句読点と英数字の扱い

和文中の句読点は和文全角の「、」「。」を用い、欧文中の句読点は半角の「,」「.」を用いる。また、本文中の英数字はすべて半角にする。また、英字記号（e.g. 「,」「.」「:」など）の後は原則として半角スペースを入れる。

(2-2) 改行や空行

各節の間は一行分空ける。節タイトルが頁の最終行になった時には、改行して次頁に送る。また、例文や図表についても、その前後は一行分空ける。

(2-3) 例文の挙げかた

例文番号は半角括弧で囲む。その下位レベルには、「a.」「b.」「c.」を使用し、本文中で「a.」「b.」レベルの例文番号を挙げる場合は、下位レベル記号を括弧内に入れる。（e.g. 「上に挙げた (2a) を見れば、...」「上に挙げた (2a, c) を見れば、...」「上に挙げた (2a-c) を見れば、...」)

(2-4) 図表の挙げかた

・ 図表には、通し番号とキャプションを付ける。通し番号とキャプションは、表の場合は上部に、図の場合は下部に付ける。通し番号とキャプションの書体は本文に準じ、文字サイズは9ポイントとする。図表内のポイント数については執筆者が判断してよいが、図表中の文字や内容が鮮明に見えるように配慮すること。

- ・ 図表の配置については、空白部分が極力少なくなるように挿入位置を調整する。

3. 原稿の提出について

(3-1) 提出ファイルの形式

- ・ Word (docx 形式) と PDF ファイルの両方を提出。
- ・ ファイル名は「発表者の氏名_castelj2017」とする。例：「kubokey_castelj2017.docx」

(3-2) 提出期限と提出方法について

- ・ 提出期限：2017年3月1日
- ・ 以下のメールアドレスの両方に、原稿ファイルをメール添付にて提出すること。

李 在鎬 (り・じえほ) jhlee.n@gmail.com

久保 圭 (くぼ・けい) kaykubo.ktu@gmail.com

- ・ 提出の際、メールの件名はファイル名と同一（発表者の氏名_castelj2017）にする。

日本語タイトル (12pt、太字、中央揃え)

サブタイトル (12pt、太字、中央揃え)

山田一郎 (さくら大学)、佐藤はなこ (IMC) ...

(空行)

英語タイトル (12ポイント太字)

Ichiro YAMADA, Sakura University Hanako SATO, IMC...

(空行)

要旨：現在、日本語教育の分野では... (日本語 300 字以内、英語 100 words 程度)

(空行)

キーワード：xxxx、yyyy、zzzz...

(空行)

1. 節タイトル (10pt、太字、左揃え)

本研究では、...である。

(空行)

2. 節タイトル (10pt、太字、左揃え)

2.1 節タイトル (10pt、太字、左揃え)

本節では、...である。

(空行)

2.2 節タイトル (10pt、太字、左揃え)

本節では、...である。

(空行)

表 1：表のキャプション (9pt)

あああ	いいい	ううう	えええ
aaa	bbb	ccc	ddd

(空行)

表 1 から、...ということがわかる。以下の図 1 は、...である。

(空行)

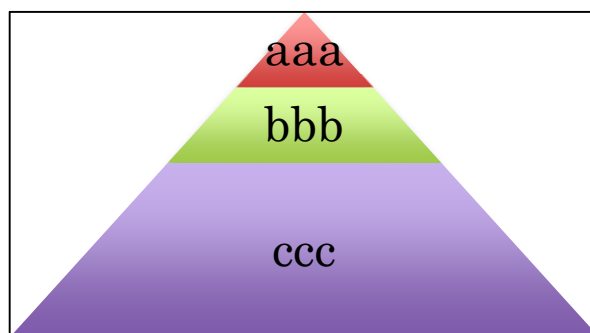


図 1：図のキャプション (9pt)

(空行)

参考文献

- Haiman, John (ed.) 1985. *Iconicity in Syntax*. Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins.
- 影山太郎. 2001. 「構文交替のメカニズムを探る—結果構文」, 影山太郎 (編) 『日英対照動詞の意味と構文』 154–183. 東京: 大修館書店.
- 小泉保 (編) 2001. 『入門語用論研究—理論と応用』 東京: 研究社.
- Langacker, Ronald W. 1987. *Foundations of Cognitive Grammar, Vol.1: Theoretical Prerequisites*. Stanford: Stanford University Press.
- Paul, Kay. 1978. The Linguistic Significance of the Meaning of Basic Colour Terms. *Language* 54: 610–646.
- 山梨正明. 2000. 『認知言語学原理』 東京: くろしお出版.

(空行)

コーパス

- NTT コミュニケーション科学基礎研究所. 『日本語語彙大系 CD-ROM 版』 岩波書店.